

## 日本CT検診学会

## 夏期セミナー 2012

日時： 2012年 7月 21日 (土) 9:50~17:55 (予定)

会場： 星陵会館 (東京都千代田区永田町2丁目16-2 TEL: 03-3581-5650)

アクセス： 有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅下車 6番出口 徒歩3分  
千代田線 国会議事堂前駅下車 5番出口 徒歩5分

夏期セミナー2012 担当責任者： 楠 洋子 (阪和第二泉北病院 健診センター)

参加費：	医師、メーカー、工学関係者	放射線技師 他
会 員	10,000 円	5,000 円
一 般	15,000 円	10,000 円

### 1 第11回 肺気腫セミナー 担当：大森 久光 (熊本大学 公衆衛生・医療科学分野)

テーマ「慢性閉塞性肺疾患(COPD)を呼吸機能検査および病理学的側面より学ぶ」

「CT肺気腫」について理解を深める上で、慢性閉塞性肺疾患(COPD)の最新の知見の習得が必要と考えます。今回のセミナーでは、呼吸機能検査および病理学的側面から2人のエキスパートの講演を企画しました。呼吸機能検査に関しては「呼吸機能検査の基本および肺年齢の活用法」について、病理学的側面に関しては「COPDの病理組織学的所見」について基本的な知識および最新の知見の習得を目指します。

### 2 第6回 技術セミナー 担当：金岩 清雄 (神奈川県予防協会 放射線技術部)

テーマ「検診現場において認定技師が行う異常所見検出の実際」

現在、認定技師が約600名程度となったが、実際の現場で技師の異常所見の検出がどのように運用されているかの比較検討は行われていない。

レポート(報告書)形式の場合、その必要最低限の条件とは何か？ また責任読影者である認定医師との連携はどのように行われ、検診の現場にはどのように落とし込まれているのか？

その成果の検証を含め、技師の異常所見検出の実際の現場に迫りたいと思います。

### 3 第16回 読影セミナー 担当：楠 洋子 (阪和第二泉北病院 健診センター)

テーマ「読影の基本および最先端との融合」

読影セミナーの元来の目的であるCT読影技術は持続的に研鑽を積む必要があると思われます。

寺子屋形式による読影研修で、回答者の認定医師・認定技師による模範読影をご教示願う予定です。

また最先端の話題として、CADの普及の現況と本邦でのCT検診のRCT研究の現状もお教えいただく予定です。

- ・特別講演①「CT検診におけるCADの現況」
- ・特別講演②「日本のCT検診のRCTの現況と課題」
- ・寺子屋形式読影セミナー

【単位について】 ◇本セミナーでの参加証は、日本呼吸器学会の専門医資格更新の2単位となります。  
(詳細につきましては、日本呼吸器学会ホームページをご参照ください)

- ◇肺がんCT検診認定機構
- ・認定医師 読影セミナー・肺気腫セミナーへの参加……5単位
- ・認定技師 技術セミナーへの参加……7単位

日本CT検診学会ホームページより  
お申し込みいただけます。

<http://www.jscts.org>

問い合わせ先

日本CT検診学会 事務業務代行

株式会社クバプロ 担当：久保田

TEL: 03-3238-1689 FAX: 03-3238-1837

[jscts-office@kuba.jp](mailto:jscts-office@kuba.jp)